

履修単位様式

科目名	建築施工	英語科目名	Building Construction	
開講年度・学期	平成 27 年度・通年	対象学科・専攻・学年	建築学科 5 年	
授業形態	講義	必修 or 選択	選択	
単位数	2	単位種類	履修単位 30 h	
担当教員	川上勝弥	居室（もしくは所属）	建築学科棟 2 階	
電話	内線 839	E-mail	kawakatu@小山高専	
授業の到達目標	授業到達目標との対応			
		小山高専の教育方針	学習・教育到達目標 (JABEE)	JABEE 基準
	1. 工程表の種類および特徴について説明できること。	④	B	d-3
	2. コンクリートの強度、養生等の関係について説明できること。	④	A	d-1
	3. 鉄骨の施工方法について説明できること。	④	A	d-1
	4. 仕上げ工事における、施工上の留意点について説明できること。	④	A	d-1
5. 建設副産物について説明できること。	④	A	d-1	
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法				
到達目標について、中間試験および定期試験の成績並びに提出レポートの内容で評価し、60%以上の成績で評価する。				
評価方法				
評価は、次の 3 項目により行う。				
1. 中間試験 (40%)				
2. 定期試験 (40%)				
3. 提出レポート (20%)				
なお、試験における参考書、コピー、携帯電話（スマートフォン）、電卓、ノート、メモ等の持ち込みは不可とする。				
授業内容				
1. 建築施工の特異性について－建築基準法、仕様書（1 週）				
2. 施工計画－施工計画書、設計図書、事前調査（1 週）				
3. 工程管理－工程表、管理図（1 週）				
4. 仮設工事（1）－仮設、足場、（1 週）				
5. 仮設工事（2）－建設機械（1 週）				
6. 土工事（1）－根切り、山留め、排水（1 週）				
7. 土工事（2）－くい工事（1 週）				
8. 前期中間試験（1 週）				
9. [前期中間試験の答案返却・解説]、鉄筋コンクリート工事（1）－鉄筋工事（1 週）				
10. 鉄筋コンクリート工事（2）－型枠工事（1 週）				
11. 鉄筋コンクリート工事（3）－コンクリート工事（1 週）				
12. 鉄筋コンクリート工事（4）－検査（1 週）				
13. 鉄骨工事（1）－建て方（1 週）				
14. 鉄骨工事（2）－接合（1 週）				
15. 鉄骨工事（3）－工事管理のポイント、検査（1 週） （定期試験）				
16. メーソンリー工事－組積、充填、目地（1 週）				
17. ALC 工事－屋根・床工法、壁工法（1 週）				
18. 石工事－湿式工法、乾式工法（1 週）				
19. 防水工事－アスファルト防水、シーリング防水（1 週）				
20. タイル工事－タイル張り工法（1 週）				
21. 木工事－木材の乾燥、使用部位（1 週）				
22. カーテンウォール工事－取付方法、ジョイント（1 週）				
23. 後期中間試験（1 週）				
24. [後期中間試験の答案返却・解説]、左官工事－日本壁、プラスター塗り（1 週）				
25. ガラス工事－固定方法（1 週）				
26. 塗装工事－塗料の種類と特徴、吹き付け（1 週）				
27. 内装工事－施工のポイント（1 週）				
28. 解体工事－解体方法、廃棄物処理、建設副産物（1 週）				
29. クレーン予防－クレーン、かし（1 週）				
30. 安全と建設公害－労働安全衛生法（1 週） （定期試験）				
キーワード	建築施工、建築工事標準仕様書 (JASS)、躯体工事、仕上げ工事、建設副産物			
教科書	井畑耕三編：建築生産、オーム社			
参考書	日本建築学会：建築工事標準仕様書 (JASS)			
カリキュラム中の位置づけ				
前年度までの関連科目	建築材料、建築実験、鉄筋コンクリート構造、鋼構造			

現学年の関連科目	建築法規
次年度以降の関連科目	
連絡事項	
1. 建築における“ものづくり”に関する講義を中心とするので、専門用語に慣れること。 2. 建築士試験要件の指定科目であるので、単位取得を目指すこと。	
シラバス作成年月日	平成 27 年 2 月 22 日